

④川を流れて自然体験



テーマ

川の流れの速さや強さを体験してみよう！

人数

20人

対象学年

小学3年生以上

実施時期

7月から9月

実施時間

3時間程度

最低経費

0円



参考画像：上南地区公民館 能生川 下倉周辺

場所

流れが緩やかで水深が浅い川、モデル地区：根知川～姫川（合流付近）

必要なスタッフ数

スタッフ 5名程度（川の流れによって変化）

児童 1班5名で大人1名+全体監視のため2名以上 4班体制なら6名以上

指導のねらい

- ・川の流れの速さ、強さを体験し、水辺の危険について学ぶ機会を提供する。
- ・自然のものを工夫・活用して遊ぶことで想像力、考える力を育てる。
- ・自然の大切さを学び、環境について考える心を育てる。

指導の流れ及び留意点

◆活動の流れ・内容

- ①集合前に事前用具を準備する。
- ②参加者の人数・体調確認を行い、開会式・スタッフ紹介・スケジュールを説明する。
- ③ライフジャケットなど安全装備を付け、班ごとに川に入る。
- ④前半は浅瀬を歩いて安全確保後、川流れ遊び活動、その後は流れの緩やかなところで川を自由に探検させ、遊ばせる。
- ⑤後半は石コロ探しのフィールドビンゴを行い、水辺を探索する。
- ⑥終了前にはごみ拾い活動をとおして環境を大切にする学習をする。
- ⑦終了後、近くの公共施設で着替えて活動の振り返り。

◆留意点

- ・歩くだけなら許可は不要。
- ・溺れる、手足を切るなど危険がある事業であるため職員・役員は事前に現地を確認し、現地近くでトイレや着替えはどうするか確認しておくこと。
- ・炎天下の活動となる場合、脱水症状や熱中症に注意し、飲料水など準備しておく。
- ・川の周辺探索は事前に調査場所を決めておくこと。
- ・体調不良の方が出た場合の対処方法について事前に職員・役員で打ち合わせておく。
- ・天候が悪い場合は延期・中止をするなど安全確保について常に心掛けること。

必要な用具（物品例）

※★は必須物品

	用品名	経費の目安	内容
	救急箱・ブルーシート、ゴミ袋など	3,000 円	活動時に使用、既存のものがあれば購入不要 ゴミ拾い用の袋は持参するが、多少準備。 水の中は手足を切りやすい、または傷が大きくなりがちなので冷静に対処する
★	ライフジャケット	借用	能生 B&G から無償で借用可能 (生涯学習課にTEL)
	箱水中メガネ	借用	能生生涯学習係から借用可能
	カメラあるいはビデオ	-	記録用、既存のものがあれば購入不要
	ワンタッチテント	-	日影が必要な場合
	飲料、冷たいもの	-	各自持参だが、熱中症対策として用意したい。
	石探しフィールドビンゴ、筆記用具	-	使用する場合は印刷して持っていく。 事前に現地から石を拾ってきて運営側も自分で調べておくとスムーズ。

※借用した品が破損した場合、新たに購入して返品する。

※途中リタイヤに備え、川に沿った道で車を1台用意しておくこと。

参加者の持ち物

水着と水の中用の靴、ゴーグル、水筒、帽子、タオル、必要であれば着替えと救急用品
川に流れてどうしても取りに行けないものは諦めること。

そのため、貴重品は開会後集め、持たせるものには注意したい。

帽子やタオルなど紛失する可能性があることをあらかじめ参加者に周知しておく。

外部指導者・事業相談

事業相談：糸魚川市文化振興課 フォッサマグナミュージアム

糸魚川市生涯学習課

糸魚川地域振興局 地域整備部 業務課行政係（川について申請がある場合）

教科との関連

【理 科】3年：身近な自然の観察

4年：季節と生物

6年:生物と環境

【社 会】5年:国土の自然などの様子

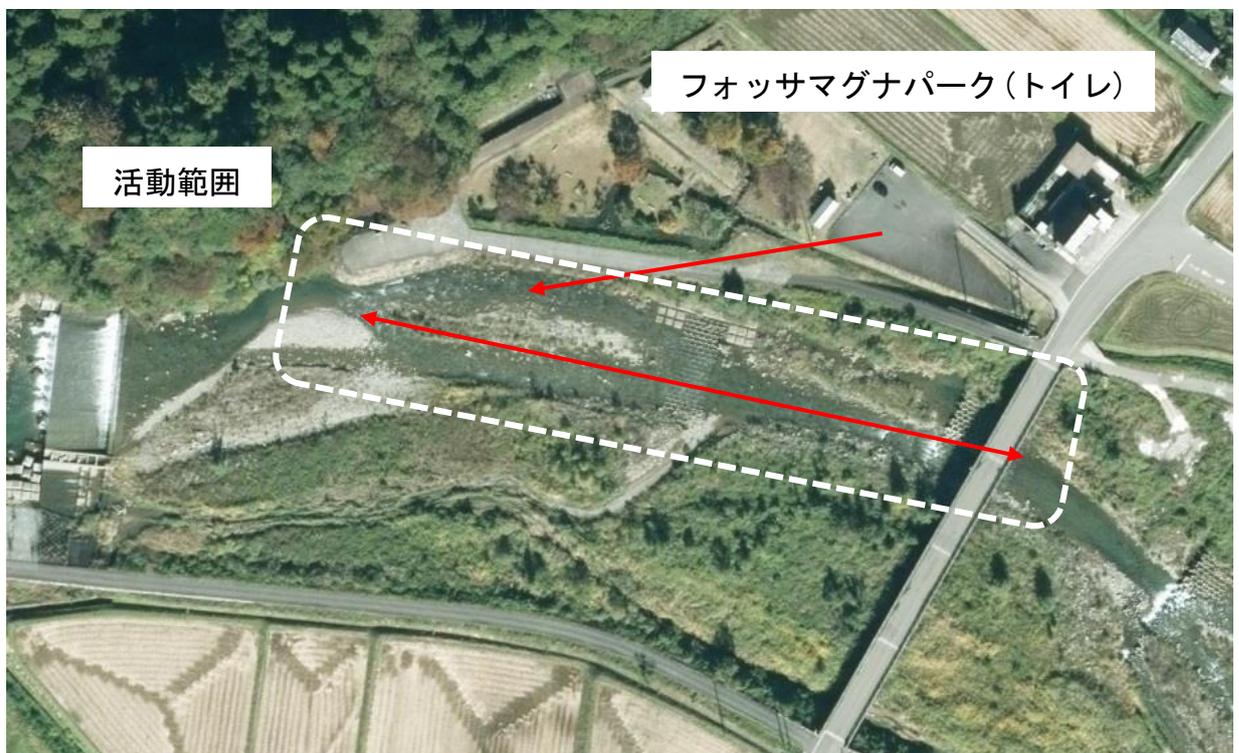
【特別活動】遠足・集団宿泊行事

※モデルコースは次ページ

①根知川大橋付近



②仁王堂橋・フォッサマグナパーク付近



◇川の状況確認、また駐車場確保のため事業計画時には必ず現地確認を行うこと。